

令和6年2月2日
(公財) 全国高体連バドミントン専門部

インターハイ・選抜大会における応援方法の周知徹底について

新型コロナウイルス感染症 5 類移行により、声出し応援の再開となりましたが、従前の「歌や長い応援」が再出したことを受け、あらためてスムーズな大会運営につながる、節度を持った応援についてご理解とご協力をお願いいたします。

【北海道総体(現行)】

応援については、放送が聞こえず運営に支障が出たり、プレーの妨げや周囲の観客への迷惑などの理由により、太鼓やラッパなどの鳴り物、うちわ、メガホンなどを利用すること、歌や長く手をたたくこと、学校対抗のベンチ、及び観客席で立ち上がることは禁止します。監督が責任を持って指導してください。

【佐賀総体以降】

応援については、プレーの妨げだけではなく、放送が聞こえず運営に支障が出ること、周囲の観客への迷惑といった理由により、着席のうえ拍手、手拍子、声援、掛け声のみとし、歌および楽器や音を発する道具の使用を禁止したうえで、次の通り制限を設けます。ゲーム中はインプレー終了から、サーバーかレシーバーが次のプレーのため構えをとるまでの間、マッチ前とインターバル中は10秒程度の長さで一度まで、中断時は禁止とします。監督が責任を持って事前に指導してください。なお守られない場合は、レフェリーより監督へ改善を求めることがあります。